

# 第4回 福大韓国学シリーズ（若手研究会）

Webexオンライン開催



10:00

趣旨説明：柳忠熙（リュウ・チュンヒ、総合司会）  
福岡大学・講師、近代東アジアの文学・思想史

10:05

鄭基仁（チョン・ギイン）  
ソウル科学技術大学・助教授、韓国近代詩・大衆文化論

詩、詩歌、poetry

韓国近代詩の形成と漢文脈、国脈、欧文脈という三重文脈の乱脈像：  
李光洙の詩論を中心に

10:30

金景彩（キム・ギョンチェ）  
武蔵大学・非常勤講師、韓国文学・思想史

〈文学性〉の発見と植民地という問題：  
金基鎮の文芸批評を中心に

10:55 休憩

11:10

閔東晔（ミン・ドンヨプ）  
学習院大学・非常勤講師、近代日朝思想史

〈世界史の哲学〉と植民地朝鮮：  
「民族の哲学」をめぐる一試論

11:35

シム・ミリョン  
ジョジア大学・助教授、韓国文学・視覚文化論

戦時植民地朝鮮文学に表れる“アジア”と“帰還”

12:00 休憩

12:10

質疑応答（進行：柳忠熙）

コメンテーター：

申明直（シン・ミョンジク、熊本学園大学・教授、韓国文学・映画）

金牡丹（キム・モラン、早稲田大学・韓国学研究所・招聘研究員、近代朝鮮の文学・演劇）

服部徹也（東洋大学・講師、日本近現代文学）

・日時：2020年10月24日（土）10:00～13:00

・使用言語：日本語・韓国語（通訳有）

◆主催：科研費「植民地期朝鮮における思想史研究の基礎構築（1）：民族改良・実力養成・自治論」（若手研究、18K12214）

◆共催：福岡大学 人文学部 東アジア地域言語学科

◆お問い合わせ先：ryuch@fukuoka-u.ac.jp（東アジア地域言語学科・柳忠熙）

オンライン開催の関係でご参加を希望される方は、  
以下のURLか右のQRコードを通じて事前申請をお願いいたします。

<https://forms.gle/6o37xdJcv4HpCwqXA>

